



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／宮坂 伸
- 副会長／林 裕彦・山崎典夫
- 幹事／北村正春
- 会報委員長／白鳥修次

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F  
Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939・URL:<http://okayarc.org>・E-mail:[okayarc@bz04.plala.or.jp](mailto:okayarc@bz04.plala.or.jp)
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

## 第 2605 回例会 2013 年（平成 25 年）2 月 26 日（火）

点 鐘：宮坂 伸 司 会：小口泰史  
 斉 唱：我等の生業 ラッキーNo.：No. 20 山岡正邦  
 ビジター：小林 徹様・小林夏夫様・佐藤三千子様・篠原 昇様（富岡 RC）  
 ゲ ス ト：米山奨学生 劉 曉紅さん

### 会長挨拶

本日は友好クラブ・富岡 RC の皆様がお見えです。ご紹介いたします。小林 徹会長・小林夏夫 SAA・佐藤三千子直前会長・篠原 昇前年度幹事の皆様です。ようこそいらっしゃいました。歓迎申し上げます。

そして米山留学生の劉さんです。ご卒業おめでとうございます。

ところで人の話をきちんと聞くという事はなかなかできないものです。先日も妻から「あなた！今私の話を聞いていなかったでしょう」と又言われ返答に困りました。女性と言いますか妻は話ぐどいせいか又、点で話をしていくためか「結論を先に言え」とか「今の話さっきの事と整合性ないじゃないか」とすぐに言うてしまうのです。人の話を聞くことは仕事の上にも大切なことです。先日こんな会話がありました。「ねえねえ知ってる？お隣の奥さん交通事故にあったんだって」「まあかわいそう」「顔がぐちゃぐちゃになっちゃったんだって」「まあかわいそう」「ところが今の医学すごいでしょ。元の顔に戻ったんだって」「まあかわいそう」

よくわかりませんが今日もよろしくお願いいたします。

### 挨拶 富岡ロータリークラブ 会長 小林 徹 様



昨年、友好クラブ締結でこちらに来させていただきましたが、早いもので 1 年が経とうとしております。今日は富岡 RC の 50 周年のご案内に参りました。よろしくお願い申し上げます。

今日の例会でびっくりしたことが、二つあります。ひとつは会長さんのあいさつと、もう一つはお弁当が豪華な事です。そして、雪が意外に少なく、御神渡りのニュースも聞いていて、もっと寒いかなと思いました。富岡 RC も昭和 38 年 6 月に創立し、今年 50 周年を迎えます。その一環として、昨年岡谷 RC と友好クラブの締結をさせていただきました。岡谷 RC は 2 年ほど先輩にな



るわけです。立派な記念誌を作られたり、また活動も立派でお招きするのも気恥かしいのですが、記念式典と祝賀会を開催します。どうぞ大勢の皆様にお越しいただきたいと存じます。

富岡で、この4月から障害者の学校が始まろうとする中で、我々もロータリーの活動も見直そうとしております。富岡 RC が無くなったら何が残るのかという事を考え、もっと足元の事をやろうと記念事業のプログラムに入れることになりました。NPO 活動を熱心に取り組んでおられる細川元総理夫人を講師にお招きし、障害の有無に関わらず全ての人がその人らしく生き生きと暮らせる「インクルージョン～共生社会をめざして」と題して講演して頂きます。是非お聞きください。

## 幹事報告

- ・ 4/13(土) 富岡 RC 創立 50 周年記念式典へは、是非ご参加ください。バスが出ます。
- ・ 3/5(火)は、総会です。尚、12:00～理事会があります。
- ・ 3/11(月) 岡谷エコRC との合同夜間例会はマリオにて、点鐘は 18:30 です。
- ・ 3/12(火)は、振替休会です。
- ・ 岡谷市長より、学校図書館用図書を市内 12 小中学校に寄贈したことに對し、お礼状が届きましたのでご報告致します。
- ・ ロータリーレート 3 月 1 ドル=92 円 (現行 82 円)

## 委員会報告

**親睦委員会** 3/3(日)スカイツリーへの親睦バスハイクは、45 名の参加希望者が集まりました。ありがとうございます。出発はホテル岡谷 7:00 です。集合 6:50 ホテルのご好意で駐車場を使わせていただきます。

**社会奉仕委員会** ユネスコ世界寺子屋運動へのご協力ありがとうございました。書き損じはがきは、3,850 円分送ることが出来、お礼状が届いております。

## ガバナー・エグゼクティブ事務所報告

**地区協実行委員会** 4/7(日)地区協は、岡谷 RC が担当で開催されます。ご案内はまだ出してないですが、当日のタイムスケジュールを作る関係で、出欠を早く知りたいと思います。出欠表を回覧していますのでよろしく願いいたします。



## 卓話「日本に来て思ったこと」

米山奨学生 劉 曉紅 さん

諏訪東京理科大学大学院二年生 劉曉紅と申します。よろしく願いいたします。

私は日本に来てもうすぐ6年になります。うれしいこともあったり、苦しいこともあったり、いろいろなことを味わってきました。多くの人と付き合ってい

る中で、聞いてきたことも含め、様々な生活、様々な社会体験できました。日本での生活そのものが勉強だと今私は思っています。今でも日本にきたばかりのことを思い出せます。

2007年4月2日、私たち中国の大連から3時間の飛行機を乗って、成田空港に着きました。降りてから、一緒に来た友達は「空に飛んでいるのは何の鳥でしょうか」とみんなに聞きました。「日本の鳥だよ」ともう一人がすぐ返事しました。皆笑っていました。その時、日本の全ては、私たちにとって新鮮でした。最初の日本は、先生の紹介より、思ったよりきれいでした。緑がいっぱいあって、道路にごみがありませんでした。今までも忘れられなかったのは、仰いだ時に目に入ったとても高い青空でした。自分の故郷中国を考えると、経済がすばやいスピードで発達していますが、環境汚染の問題もかなり深刻的な問題になってきました。日本のような青空はもう子ども時代に戻ったみたいに空気も美味しくなりました。その時から日本に来て良かったと思いました。

そして、私は一番感心することを言えば、日本の優しさです。日本での生活は、初めての異国生活というより、国で勉強したことやメディアにより認識した日本に対するイメージを確認するようなものでした。来て、たくさんの人々に出会って、「親切」という言葉しか思い出せません。中国からの留学生だと分かって、親切に声をかけてくれる人もいました。また、最初銀行でキャッシュカードを作る時、いろいろなことが分からなくて、書くものがよく間違えて、何度も何度も親切に教えてもらいました、とても感動しました。以前バイト先のラーメン屋で最初に分からないばかりで、よく間違えていました。もうクビされると思いましたが、店長は「大丈夫ですよ、自信を持って、ゆっくりで覚えましょう」と何度も教えてくれました。私一人の留学生に対して、周りの人はいつも暖かい言葉で励ましてくれました。自分もせめて皆の恩返しでもしようと思うくらいに頑張っていました。全部のことをうまくできた時、「劉さんは頑張りましたよね」と店長の一言とその優しい目付きを見ながら、涙でるぐらいうれしかったです。学校の先生も自分の子供を世話するみたいに、勉強以外の生活や進路などいろいろの相談を乗ってきました。私今ここに立てられるのも皆のおかげだと思います。

留学生活が始まってから、いろいろな体験をしました。日本文化の源は中国にあるので、日本で暮らしてみたら、あまり違和感がありませんでした。同じ黄色い皮膚のアジア人であり、目に入る文字の大部分は漢字であり、茶道や書道、お寺やお祭りなどにも中国古代の文化の影がよく見られます。最初は、ゴミが決まった日にしか出せないことは面倒くさいと思ったが、そのうちに慣れてきて、大切なことだと思っています。これは日本人のマナーと言うより、良い習慣を身につけたと言ったほうが良いと思います。私もたくさんいい習慣を身につけたらいいなと思いつつ、頑張っていきたいと思っています。

そして、先週はじめてスキーをしました。場所木島平にあるとても素敵なスキー場でした。日中友好協会に主催され、素晴らしい活動でした。一日目は天気がとても晴れていて、気持ちよかったです。レンタルのスキーウェアを着て、スキーボードをもらい、わくわくしながら、安全な行動するための説明をしっかりと聞いていました。みんながそれぞれのグループを分けられ、スキーの勉強が盛り上がり行きました。最初は歩くだけで、大変でした。あっという間にあせをかきました。すこし滑れるまで何回転んでいましたが、痛くても笑っていました。転んだ時考えましたので、悩んでいました。

スピードを降ろす方法が先生から教われました。翌日、すごく大雪が降りましたが、長い距離を滑れるようになりました。雪が冷たかったけど、転んでなかったの、自分の努力に感動されました。寒くても、痛くても、楽しかったです。今の私は、スキーが好きです。

去年4月から米山奨学金のおかげで、勉強と研究を専心でき、豊かな一年を過ごしました。卒業論文を書くことが大変ですが、心が落ち着く出来、無事に論文を出しました。

卒業論文の内容について 自動車産業は、基幹産業として日本経済の中で重要な位置を占めてきました。しかしながら自動車からのCO<sub>2</sub>排出量は環境への影響が大きいことが指摘されています。地球環境保全の観点から自動車が地球温暖化に及ぼす影響を明らかにすることによりその改善を図ることには今後の産業の発展にとって重要です。

自動車産業におけるLCCO<sub>2</sub>をカーボンフットプリントの観点から解析を行ないました。特にライフサイクルにおける使用段階のCO<sub>2</sub>排出量に着目し、自動車を輸出することにより、どのぐらいのCO<sub>2</sub>を輸出しているかを定量化しました。また輸入車に関する調査も同時に行うことにより日本を中心としたCO<sub>2</sub>の物質フローを検証しました。これらの研究成果を用いて日本の自動車産業の発展経験から環境問題の途上国である中国の自動車産業を中心とした環境汚染問題を改善できると考えています。また、自動車に関連した学生の環境意識調査を行い、学生の立場からみた自動車環境問題に関する検討を行いました。その結果、学生にとって自動車の環境改善の為に出来る税金の金額は約43円であったというようなないようを研究しました。

私にとって日本での留学生活は、時に大変なこともあります。人生を変える素晴らしい経験でした。

## ニコニコボックス

富岡ロータリークラブ 小林 徹・佐藤三千子・篠原 昇・小林夏夫 お久しぶりにお伺い申し上げます。50周年のご案内に、お伺いいたしました。

井上保子・牛山幸一・太田博久・大橋正明・小口泰史・尾関秀雄・小野 仁・笠原新太郎・北澤洋之助・北村正春・小林純一・小松正二・佐伯克己・佐藤有司・杉田隆夫・瀬戸雅三・高木昭好・武井利夫・竹村一幸・中嶋孝一・中畑隆一・中村文明・濱 俊弘・林 裕彦・林 靖高・原 史郎・平沢清文・藤森睦美・宮坂 伸・宮澤由己・矢島 進・矢島 實・山岡正邦・山岸邦太郎・山崎典夫・守屋麻里・薩摩 建

富岡ロータリークラブの皆様、ようこそお越し下さいました。歓迎申し上げます。  
小松正二 チョコレート、ありがとうございます。

## 出席報告

会員数47名、出席者41名、出席率87.23%、前々回訂正95.74%

2012-2013年度RIテーマ  
奉仕を通じて  
平和を

